

# えべつの未来づくりミーティング

～ NPO 法人 江別手をつなぐ育成会編 ～

令和4年3月30日(水) 江別市民会館2階21号室  
午後2時15分～午後3時40分

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

・自分が住んでいる錦町は人口が増えているが、先日、野幌地区に住んでいる友人から、農家の人口がとても減っていると聞いた。小学生もわずかで、登校時にはタクシーが迎えに来ると聞いた。JR江別駅前、銀座通りだったのに、今はシャッター街になっている。江別地区は住宅街ばかりで、住んでいる人の大半は、仕事は札幌に行っているのだろうか。自分が卒業した学校もなくなるなど、ここ何年かで地域の変化を感じる。

・以前、JR野幌駅の近くに住んでいたが、今は、いずみ野に引っ越して住んでいる。JR野幌駅付近と比べると、とても静かで、当初は静か過ぎて眠ることができなかつたぐらいであった。同じ市内なのに、こんなに違うのかと感じている。



・幸町に住んでいるが、住み始めた当初は、猛吹雪の時に辛かったり、バスも通っておらず大変だったりが、今はバスもあり、交通面は便利。江別市では、最近子どもが増加し、認定保育園が増えているが、先日、大麻地区の友人宅に行くと、戸建ての家がたくさん建っており、これが若い世代が増えている理由なのかと感じた。ただ、宅地がいっぱいになっているのであれば、また人口減少などの問題が出てくるのだろうかと考えた。

・文京台に住んでいる。森林公園がすぐそばで、毎日散歩もできて、住環境としてはとても静かだと思っています。一方で、大麻地区は、おじいちゃん、おばあちゃんばかりになってしまっている。店も少なくなっているが、医療機関は新札幌が近く、そちらのほうが充実しているため、どうしても新札幌の病院に行ってしまう。とはいえ、江別市立病院の赤字のことが新聞に載っており、これは策を考えないと大変なのではないかと心配している。

・市内で障がいのある方を、積極的に診てくれる医療機関が少ないと感じる。歯科も知的障がいのある方の口腔医療を専門にしているところはあまりない。江別市立病院でも、以前、



障がいを理由に検査を断られたことがある方もいる。また、江別市立病院は新型コロナウイルス感染者専用病床を設置していると聞いたが、そのことが市民に浸透していないのではないか。浸透していれば、もっと安心できた方もいたのではないだろうか。障がい者の入所施設で感染しても入院させることができないという社会の事情があり、また、障がい者が感染したら、できれば施設で見てほしいという話が国や道からあったとも聞いた。必要な人に必要な医療

を届ける市民のための病院は一体どこにあるのかと、憤りを感じたこともある。最近、市広報で、こんな検査もできます、特定健診にもどんどん来ててください、という江別市立病院の明るい話題を見ることもある。医療面で困っている方たちを支えていただけるような江別市立病院であってほしい。

## 2 今後、江別市が力を入れるべき分野について

・子どもたちの障がいを考えると、この先、親もだんだん年をとるため、心配。今は施設で楽しく暮らしており、定期的に家に帰ってきて、親との交流もあるが、施設の職員もなかなか

か集まらない中、今後、子どもたちが満足できる支援をしていただけるかという不安がある。

- ・障がいのある方たちの一生を考えると、江別市の教育は充実しているものの、卒業後の就労の段階で、就職先が市内で見つからない。障がいのある方たちも働ける産業振興を、どんどん進めていただけるとありがたい。農福連携で福祉就労をしているところがあり、江別市でもサポートしていると思うが、いろいろな産業の中で障がいのある方が働けるように工夫していただくことを切に願っている。また、就労のための教育を含めた高等養護学校の設立を当団体としてもお願いしている。
- ・これまで、家族を含め、江別市立病院に行ったことはなかったが、去年患った病の経過観察のために、札幌市内の病院から江別市立病院への紹介状を書いてもらい、今年の5月から江別市立病院に通うことになった。雪の多い中、札幌の病院に行くのは大変で、これからは江別市立病院なのでほっとしているが、周囲の人に話を聞くと、多くの方が札幌の病院に通っており、江別市立病院に通院するというと、「大丈夫なの？」と言われた。「江別市立病院に通院するの？良かったね！」と言われるような病院になってほしいと思う。
- ・江別市立病院には、子どもたちがずっとお世話になっており、良い先生がいる。自分の子がお世話になった看護師は親切だった。その人その人の対応が大事なのだと思う。設備もきれいになっている。

### 3 今年の大雪に関連して感じたこと、今後の対応について

- ・JR大麻駅の近くに住んでいるが、大雪で除排雪が進まず、バスが運休したことには驚いた。また、バスが通る道路は、普通車がすれ違うこともできなかった。母の介護のために札幌の真駒内まで、いつもは片道1時間弱のところ、3時間半かけて行った。でこぼこの道ですれ違うとぶつかりそうで怖かった。その状況は札幌市も同じだったが、札幌市との境目で、道幅が違ったり、改善状況に差があったりした。せめて幹線道路、特にバスが運行する道路だけでも、路面のでこぼこを直してもらえると改善すると思った。
- ・大雪の時期にちょうど3回目のワクチン接種に行くことになり、道路の除雪状況を見ながら、道路を選んで行った。雪に関しては、札幌に行って分かったが、札幌の雪道の状況はもっとひどく、江別はまだいいほうだと思った。
- ・間口の除雪を業者に委託しているが、この冬は10回来てくれる予定のところ、5回しか行けないと言われた。どこの業者も同様で、誰が悪いわけではないので仕方ないと思った。道路は除雪が入ると、車が通ることができるようになるものの、十分排雪していないため、でこぼこになっており、埋まっている車がいっぱいあった。2番通りは除雪されていたが、3番通りの冬の道路幅の狭さは、毎年だが、何とかならないのだろうか。バスが停まったら、後続が全部渋滞になる。冬に3番通りを通るたびに思う。
- ・夫が、シルバー人材センターに加入している。今年はこれまで以上に、高齢者の方から間口の除排雪を頼まれることが多かった。独りで住んでいる高齢者はゴミ出しにも行けなかったのではないだろうか。
- ・市役所では最近、窓口でとても親切にしてもらっている。転勤族だったので、以前はあっちへ行って、こっちへ行ってと他の自治体でも言われたような記憶があったが、最近、ワンストップサービスとまではいなくても、親切に対応してもらい、良くなったと感じている。

